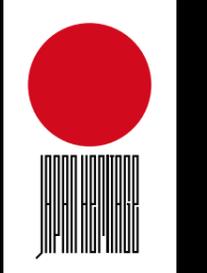


# 米作り、二千年にわたる大地の記憶

シリーズ日本遺産 ⑧

問い合わせ先  
生涯学習課  
社会教育係  
☎ 0968(25)7232



菊池川 日本遺産 検索

遺跡位置図



条里跡(玉名市)

鞠智城跡

## 平地に田を拓く(条里跡、鞠智城跡)

### 条里跡

7世紀以降、日本の政治は天皇中心の仕組みとなります。当時の政府は、国中の土地を同じ広さで基盤の目のような正方形に区分けしました。この土地区画法を条里制といいます。まず、全国を約60の国に分け、さらに国を郡に分けました。そして郡を6町(約654畝)間隔で縦横に区切り、縦(南北)の列を条、横(東西)の列を里としました。その一区画を「里」と呼び、それをさらに一辺が1町(約109畝)の36の正方形に区切り、それを「坪」としました。

支流である山鹿市の上内田川や岩野川沿いの平地、さらに下流の玉名平野の菊池川沿いの平地が条里跡とされています。現在も、上内田川流域と玉名平野には、条里制当時の区画(一辺約109畝の区画)がそのまま残り、いわば「千年以上の田園風景」が続いているのです。

ちなみに、条里制により土地の場所が、例えば「四条五里九坪」と呼ばれるようになりました。今でも、山鹿市鹿本町や鹿央町などには「三十六」などという数字の地名があり、条里制からの呼び方が残っています。

### 鞠智城跡

鞠智城跡は東アジア情勢が緊迫した7世紀後半に、唐(中

### ロゴマークが決定

全国から351点の応募があり、菊池川流域日本遺産協議会で次のとおり決定しました。作者は菊池市在住のデザイナー「緒方徹さん(54)です。緒方さんは「流域の『ストーリー』」に焦点を当て、川と時間の流れを絵巻としてデザインしました。さまざまな文化財を日本昔話風に表現することで、多様な要素がこの流域に詰まっていることを表しています」と話しました。



# 菊池溪谷 再開

熊本地震で大きな被害を受け立ち入り禁止となっていた菊池溪谷。約2年ぶりに山開きを迎えました



U. Higashi

市民にとって癒やしの場所であり、本市の大切な観光資源である菊池溪谷。再開までにはたくさんの方の協力と温かい励ましがありません。

地震発生直後、溪流の水は茶色く濁り、溪谷内や溪谷の前を通る県道45号線では大規模な崩落・落石が発生。復旧までにどれくらいの期間を要するのか目処が立たない状況でした。しかし、森林管理署や県をはじめとする関係機関の協力を受け、地震から約半年後に復旧工事に着手。工事が進む中、全国各地から再開を待ちわびる励ましの声が届き、菊池溪谷復興寄付金には約100件の寄付が寄せられました。

本来であれば厳しい寒さで閉山となる冬も、一日も早い再開のため工事を継続。3月23日には安全祈願祭が執り行われ、24日、待ちに待った再開の日を迎えました。



平成28年6月  
広河原では大規模な崩落が発生



平成29年2月  
立ち入り禁止期間中、歩道や柵の設置などの工事を進めてきました



平成29年5月

## 菊池溪谷・再開への思い



ひがし ありこ  
東曜子さん  
(栄町)

**待ちに待った再開にドキドキ**  
大好きな菊池溪谷にまた会える。写真を撮らせてもらえる。そう思ったらうれしくてドキドキしました。時は春。新しい命が水辺にあふれ、やわらかな光が木々を包んでいるころでしょうか。  
2年ぶりの森に思いをはせると、それだけでおいしい空気が胸いっぱい広がってきました。



菊池溪谷を美しくする  
保護管理協議会  
溪谷管理責任者  
おがわ たかし  
小川博哉さん  
(下出田)

**「今」の菊池溪谷を見てほしい**  
全国から届く応援に励まされ、会員と一緒に再開を迎えることができ安心しています。落石や工事で景色が変わった場所もありますが、それも菊池溪谷の長い歴史の1つ。やがて木やコケも生え、元の姿に戻るでしょう。地震を乗り越えた今の菊池溪谷を見て、自然の力を感じてほしいですね。